

平成31年度 秋田県立大館鳳鳴高等学校 第2学年国語科 現代文Bシラバス

1 学習の到達目標

国語を適切に理解し活用する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力と心情を豊かにし、その向上を図る態度を養う。

2 使用教科書

『高等学校 現代文B [改訂版]』（三省堂）

3 指導計画

時期	学習内容（単元）	学習のねらい
前期	4月 評論「文系と理系の壁はあるか」	<ul style="list-style-type: none"> ・科学と人間の営みの関わり方について考える。 ・「李徴」及び「袁愴」の視点に沿いつつ、語り手が構成する場面の意味を考える。 ・「ミロのヴィーナス」に対する筆者の想いを読み取る。 ・貨幣というものの本質について、論の展開を追いながら読み取る。 ・近代詩、現代詩の鑑賞の方法や技法について学び、想像力を豊かにする。 ・人間が科学とどのように向き合うべきかについての理解を深めた上で、自分の考えを整理する。
	5月 小説「山月記」	
	6月 評論「ミロのヴィーナス」 (前期中間考査)	
	7月 評論「ホンモノのおカネの作り方」 (夏季休業)	
	8月 詩歌	
	9月 評論「病と科学」 (前期期末考査)	
後期	10月 小説「夏の花」	<ul style="list-style-type: none"> ・手記の中の情報を整理し、「私」という人物のものの見方について考え、さらにこの「手記」を残した理由についても考察する。 ・筆者の意見を通じて、自分の考えをもつことができる。 ・「である」論理・「する」論理という筆者の問題意識をふまえ、社会事象を捉え直す観点を手に入れる。 ・叙述に即して人物の心情を読み取り、近代の小説世界を想像力豊かに読み味わう。
	11月 評論「スポーツとナショナリズム」	
	12月 (後期中間考査) 評論「『である』こと『する』こと」	
	1月 (冬期休業)	
	2月 小説「こころ」 (後期期末考査)	
	3月 1年間の復習	

4 評価規準

評論 文章を論理的に読み進め、読解力を高めつつ、自分の考えをまとめることができるかどうか。
 小説・韻文 作者の感じ方や登場人物の心情を理解し、自分の言葉を用いて意見をまとめることができるかどうか。

5 評価方法

定期考査、小テスト、課題等の提出状況など、それぞれを得点化して評価する。